豊友会報

大分市大字下郡496-38
大分県教育会館内
大分大学教育福祉科学部
同窓会「豊友会」
編集兼発行人　秦　政博
TEL 556-0145
bundai-hoyu@fuga.ocn.ne.jp
印刷所
㈱明文堂印刷
TEL 533－8800

豊友会総会

会務の継続と安定を 会員減への対策が課題

秦政博会長

各支部評議員が集う豊友会総会が5月12日(土)県教育会館で開催された。平成29年度会務、決算についての事務局提案が了承されると共に、30年度の事業計画案、予算案も承認の運びとなった。

議事に先立ち、秦政博会長が挨拶。

はじめに、日常的な支部活動に謝意を表明した。

続いて、豊友会の長期的な活動の安定を念頭に会員確保の重要性を強調した。高齢化が進む中、会則に規定されている名誉会員が増加する一方、学部生の卒業生が減少し結果的に、年々、会員減の状況が生まれてくる。

また、同窓生の退職時における「退会」も生じかねない。この退職者の対応策が、「支部長会議」で情報交換されたことがあるが、全県的には広がっていない。

次に、道徳や英語の教科化や「働き方改革」の動きに関心を寄せたいものであると提起した。

平成30年度役員

会長　秦　政博
副会長　小野　京子
〃　河室　信義
〃　諸富　忠彦
顧問　古賀　精治
監査　藤井　隼子
〃　津﨑　佳治

副会長に「諸富 忠彦」氏（杵築市支部）

二年毎の役員改選の時期にあたり、杵築支部長の諸富忠彦氏が副会長に就任した。前任の太田一宇氏は、二期四年間の在任。総会後、秦政博会長が感謝状を贈った。

大友宗麟とは…

総会の前に、大分市教育委員会文化財課、坪根伸也政策官が、「大友宗麟と南蛮文化」と題し、講演。「キリシタン大名」と称される宗麟が取り入れた西洋文化の紹介を交え、興味深い講演会となった。大分市の「大友氏館跡」は、大友氏の拠点となっていた。現在も発掘調査が続いている。

新樹

「…三日間誰とも話していなかったので淋しくて、一寸の間話を聞いてくれませんか。」バス待ちの私に声をかけてきた初老のひと。

バスを待っていただけなのに天気に始まり身の上話まで…。見ず知らずの私に話しかけてくる。「又、出会ったら話を聞いて下さいね。」

このひと言で、友達になったような、貴重な人生を分けていただいたような気持ちになる。行きずりの人に身の上話をし心に抱えていたわだかまり、淋しさを軽くしようとするその姿に一種のすこやかさを感じた。

人と人とのつながりが希薄になりつつある昨今自分の心の重みと淋しさを、乗り越える方途をみつけようとするその姿に親しみを覚えた。

昨日よりも今日、今日よりも明日、自分が少しでも変わりたいのであれば、新しくなりたいのであれば、周囲から学ぶことだ。日々の中で接する全ては無限、全てが師である。人生には一日として同じ日はなく出会う人も一人として同じ人はいない。そう思うと今日という日を大切に生きなければならないし、出会った人との関わりも深くしていくことが大切だ。

一つだけでいい、ありふれた毎日にひそむ新しさを見つけ出したい。

シリーズ

小学校の外国語（英語）教育 ～1～

大分大学教育学部　教授　御手洗　靖

3回シリーズの初回は「外国語活動」についてです。昨年まで5、6年生に実施されていた外国語活動は、平成30、31年度は、3、4年生に最低で年間15時間が実施されます。32年度からは35時間実施されます。

教材として、文部科学省作成のLet'sTry!が配付され、デジタル教材には、音声や画像・映像が収録されています。英語表現としては、3年生で"Whatdoyoulike?"、4年生で"Ileavemyhome."などの日常的な表現が含まれています。これらは、「音のかたまり」として、たくさん聞いて慣れたあとに使ってみるためのものであり、文法の説明は不要です。冊子は、絵、写真、図表と活動が中心で、英語の表記はわずかです。読み書きは目標ではありません。

音声中心の授業が求められる中で、先生方の次の声を耳にします。・英語を使うことに抵抗がある。・文字を使わずにはいられない。・聞き取れない。・発音の仕方がわからない。

至極当然のことです。読むことが中心の「英語を学ぶ人」だった方が、外国語活動の担当を始めたからといって、自然に「英語を使う人」に変化することはまれだからです。意欲のある方への方策として、何らかの変化の契機を提供することが必要です。研修もそのひとつだと考えます。

多少なりとも貢献ができればと、私は現在、免許更新講習で発音と指導法の講習を開設し、別に小学校での教員研修も行っています。近年は発音や英語を話す研修の要望が強いようです。英語ネイティブの講師も素晴らしいですが、日英2言語の「橋渡し」ができる日本人も有用です。（昨年はALTにも発音指導法の研修をおこないました。）

「なんだ、これでよいのか。」、「最初は不安だったが、楽しくて自信がついた。」といった、気持ちや考え方の変化を耳にすることは、大きな喜びです。ご参加をお待ちしています。なお、学部では公開授業も開設しています。現職以外や育休中の方の受講があります。いかがでしょうか。

"Comeonin,thewaterisfine!"

※前号掲載の自撮り写真から変更しました。「実物と違う」そうですので。（本人談）